

第2部 諸地域世界の交流と再編

6 内陸アジア世界と諸地域世界

3 ユーラシア諸地域の交流と再編 (教科書 P. 106~108)

① つながる世界 [p. 106]

〈モンゴル以前〉

- ・ユーラシア各地で戦争があり、交易は不安定

〈モンゴル帝国が [] を支配〉

- ・ [] が整備され、内陸路の安全を確保
- ・ ムスリム商人の活躍で商業と文物の交流が進む

〔 中国画の技法
→ ミニアチュールに影響
マルコ・ポーロの『 [] 』
[] の旅行記
[] の派遣とカトリック布教

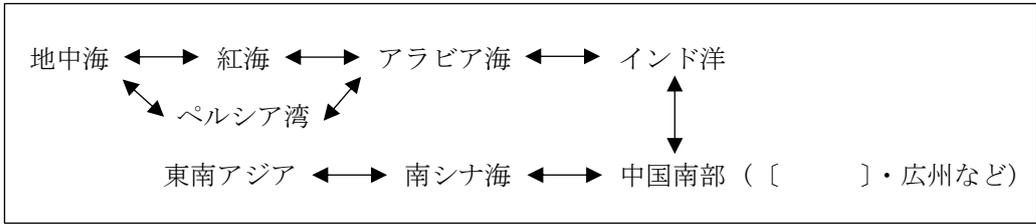
- ・ 物資の交換とともに情報交換もすすむ

② 帝国の解体と諸地域の変化 [p. 107]

- ・ 元の退去後も遊牧諸部族と明の抗争はつづく
- ・ イル・ハン国
→ イスラーム化ののち、解体
- ・ チャガタイ・ハン国
→ [] が自立
- ・ キプチャク・ハン国
→ 16世紀まで存続したが、ロシアが勢力を拡大
- ・ チベット仏教の世界が拡大
→ チベット～モンゴル高原一帯の諸民族が信仰

③ アジア海上交易の形成と発展 [p. 107]

- ・ 元の衰退にともない、陸上交易路は衰退したが、海上交易路は発展



取り引きされたもの

- インド産の綿, 中国産の〔 〕,〔 〕, 東南アジアの香辛料など
- ・ 16 世紀に入ると海上交易にヨーロッパ人が参入
 - 中国に大量の銀がもたらされる